

4月の園だより

令和7年4月1日
目黒区立ひもんや保育園長

～ 入園進級おめでとうございます ～

長年子どもたちを見守ってきた園庭の桜が今年も子どもたちを出迎え、新年度がスタートします。

3月末のある日、3歳児クラスの一人の子どもが散歩先で拾った河津桜の花びらと水が入ったビニール袋を持って「園長先生これ結んで」と来ました。それを見ていた4歳児クラスの子どもが「色水作りたいの?」と聞きます。「ちがう、紫色の水作りたいの」と答えると「あー、紫色の水作りたいんだね。それを色水って言うんだよ。だったらいっぱい揉むと綺麗な紫になるね」とやり取りしていました。この二人のやり取りに感動し、傍で聞いたことを嬉しく思いました。4歳児の子どもは、自分の気持ちを十分に受け止められた経験を重ねてきたことで“これがしたいんだね”と相手の気持ちを汲み取れるような姿に育ってくれたのではないかと思います。こんな風に関わってもらえた3歳児の子どももまた同じように成長してくれることと思います。

統合に向け「ひもんや保育園」としての最終年度になります。園目標の『心もからだも元気な子ども』を目指し、子どもたちの意欲を大事にし、子どものやりたい活動を十分に保障していきたいと思えます。そんな経験を積み重ねることで、一人ひとりの子どもが“心”を育み“かけがえのない自分”を感じてくれることを願っています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



☆ 園庭のシンボル桜が見守る春 ☆



4月の行事

入園式
進級お祝い会
全体保護者会
身体計測、避難訓練

5月の行事

2歳児クラス懇談会
春の遠足(4、5歳児クラス)
4歳児クラス懇談会
5歳児クラス懇談会
3歳児クラス懇談会
身体計測、避難訓練

輝け！ひもんやの子どもたち！

～一年間大切にしたいこと～



つくし組（0歳児クラス）

初めての保育園生活が始まります。視線や声、仕草で「おなかがすいた」「ねむい」等の気持ちを現してくれる子どもたちに「〇〇だね」と目線を合わせて思いを受け止めていきます。一人ひとりの思いに応答的に関わることを大切にすることで、人との関わりが心地良いと感じられるようにしていきます。また、保護者の方と一緒に子どもたちの成長を喜び合っていきたいと思えます。



すずらん組（1歳児クラス）

箱を車に見立て出入りしたり押ししたりと、車が大好きな子どもたちです。散歩先でも清掃車や消防車を見かけると大喜びです。身近な人や物に興味を持ち「これなんだ」「いいものみつけた」と自分で向かっていき、探索活動がますます活発になります。その中で子どもたちが気づいたことを同じ目線で不思議がったり面白がったりしながら一緒に楽しんでいきます。また身振りや言葉などで表現する子どもたちの思いを汲み取り寄り添いながら、気持ちが伝わる喜びを重ね“自分でやりたい”という気持ちも大切に見守っていきます。



ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

ごみ収集車の清掃員さんに憧れたり、お母さんや赤ちゃんになりきったりと、つもり遊びも活発になってきました。保育士も子どもたちと一緒に遊び、子どもたちの感じた“わくわく”を面白がり楽しんでいきます。「いや」「じぶんで」と自己主張し、時には思い通りにならない経験をしますが「どっちにする？」「どっちがいい？」と子ども自身が考え選べるようにしたり、待つことを心がけたりしながら、焦らずゆったりと関わることを大切にしていきます。



たんぼぼ組（3歳児クラス）

「なんだろうね」「なんでだろう」と環境や物事に興味を持ち考えてみるなど、好奇心でいっぱいの子供たちです。子どもたちが安心した環境の中で、自分らしい表現ができ、やりたいことにとことん取り組めることを大切にしていきたいと思えます。また、様々な遊びで繋がった友達と、いろいろな経験を重ねる中で「面白い」「楽しい」などの気持ちを共有し“友達と一緒に過ごすっていいな”と感じられるようにしていきます。



こすもす組（4歳児クラス）

見たこと、感じたことをすぐに再現しなりきって遊ぶことが大好きで、少しずつ友達とイメージを共有して遊ぶことが楽しくなってきた子どもたちです。友達との関わりが深まる一方で、自分の思い通りにならない場面が増え、葛藤も経験していきます。子どもたちが自分の気持ちと向き合う時間を大切に見守り、どうしたら良いかを一緒に考えながら、少しずつ自分の気持ちに折り合いを付けていけるように見守っていきます。様々な葛藤の中で一人ひとりが考えて決めたり納得できたことを認めていきたいと思えます。



ひまわり組（5歳児クラス）

泥団子を「つるつるにしたい」と根気よく磨いたり「望遠鏡を作りたい」とイメージしたことを形にしたりするなど一人ひとりがとことん自分の遊びを楽しみ夢中になっています。その中で「面白そう。入れて」と声をかけ合う姿も増えてきました。一方で、様々な活動の中で友達と意見が食い違うことも経験しています。まずはそれぞれの思いを出しきり、友達の思いを聞くことでいろいろな意見があることを知っていきます。存分に意見を出し合い自分たちで解決策を導き出せるよう見守っていきたいと思えます。全て解決するわけではないかもしれませんが、でも“自分たちで考えることは面白い”と感じる過程を大事にしていきたいと思えます。そんな経験を重ね共に活動する中で友達の魅力を認め合い“みんなの良さを合わせたら楽しい”と思えば充実感や達成感を感じられるようにしていきます。

園目標「心もからだも元気な子ども」

- 意欲的な子ども
- 自己表現できる子ども
- 思いやりのある子ども
- 感情豊かな子ども

職員体制

一年間 どうぞよろしくお願いいたします